

——シニア会員申請登録は

10月1日から開始しています！——

平成20年から発足しましたシニア会員制度は、日頃の会員活動を通して本会の発展に寄与する継続的活動が認められ、本会への貢献が大きい正員に対してシニア会員の称号を贈呈し、より具体的に敬意を表明するとともに、将来にわたって引き続き学会活動の中心となって、学会の発展、ひいては社会への貢献をお願いするものです。また、本制度は将来、フェロー選出の母体となる制度でもあります。

- ・申請期間：平成25年10月1日から平成26年1月31日まで
- ・推薦基準：本会に関連する技術分野に原則10年以上従事しており、本会会員として累計在籍年数5年以上の正員、あるいは顕著な業績・貢献が認められる正員を対象とする。累計在籍年数は、提出期限である1月31日までの在籍月数を積算し、12か月を1年とし、端数月数は切り捨てる。
- ・申請方法：Webでの自己申請で推薦者2名が必要
- ・推薦者：名誉員、フェロー、シニア会員

該当の会員の皆様、是非登録申請して下さい。

会員の皆様の周りの該当の方々に、申請登録されるようお勧め下さいませようお願い致します。

申請方法等の詳細は下記URLを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/senior/index.html>

——平成26年度個人会員会費の御請求を

11月末にお送り致しました——

個人会員の皆様には平成26年度（平成26年4月～平成27年3月）会費御請求の振替用紙を会員証と併せて11月末にお送り致しました。なお、法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成26年4月末にお送りする予定です。何とぞよろしくお願い申し上げます。

——論文誌の冊子体の廃止について——

本会では、1999年8月から論文誌の電子的公開を開始し、2006年4月からは個人の会員の皆様への論文誌の配布媒体をオンライン版とし、冊子体はオプションとしております。また、2009年4月からは特殊員の皆様に対し、サイトライセンスを開始してきました。これらにより、近年オンライン版での閲覧が定着し、オプションとして冊子体を希望される方は減少しております。

一方、現在、電子情報通信学会・横断システム（IEICE Knowledge Discovery（略称：I-Discover））などの新たなシステムの構築、会員管理システム刷新、既存の論文査読／公開システムの更改などを行っており、利用者の皆様のサービス向上及びオンラインを活用した学術情報発信強化に向けた取組みを進めているところです。

少子化等により会員数が漸減していく中で、今後も引き続き学会活動を持続可能なものにしていくために、リソースの集中を図

ることが必要になっております。

その一環として、論文誌の冊子体を2014年4月号から廃止することが2013年4月15日の理事会で決定されました。これまで冊子体に親しんでこられた会員の皆様につきましても、今後はオンライン版の御活用をお願い致しますと存じます。

御不便をおかけしますが、何とぞ御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、論文誌の別刷は引き続き作成致します。

——平成25年12月号及び平成26年1月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

（基礎・境界ソサイエティ）

12月号 [和文] バイオメトリクス

12月号 [英文] Information Theory and Its Applications

・VLSI Design and CAD Algorithms

1月号 [英文] Wideband Systems

・Cryptography and Information Security

（通信ソサイエティ）

12月号 [和文] 知的環境を実現するセンサネットワークの基盤と応用技術論文

12月号 [英文] Network and System Technologies for Sustainable Society

1月号 [英文] Management for Flexible ICT Systems and Services

（エレクトロニクスソサイエティ）

12月号 [和文] 大学発マイクロ波論文

12月号 [英文] Advanced Elementary Technologies for Information Storage

1月号 [英文] Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application

（情報・システムソサイエティ）

12月号 [和文] ソフトウェアエージェントとその応用

12月号 [英文] Parallel and Distributed Computing and Networking

1月号 [和文] ヒューマンコミュニケーション特集～価値ある生活環境構築のための情報技術～